

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	特定非営利活動法人 アクティブ 地域活動推進センター アクティブ・デイ	
代表者名	理事長 鈴木和憲	
連絡先	TEL : 022 352 5665 FAX : 022 352 5665	E-mail active-day-2008@arrow.ocn.ne.jp

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	活動の充実と老朽化した備品の購入について
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者の獲得。 ・ひきこもりの方にも情報が行き届き、一歩踏み出すきっかけになる。 ・利用者が自信を持って、楽しく生活をする事ができる。 ・大きなイベントを成功させることによる達成感。 ・普段、接することのない学齢期との交流経験から成長を促す。 ・職員、利用者が安心して日々活動ができる環境の確保
事業の具体的内容	<p>新規利用者の獲得と現在登録中の利用者と保護者の皆様のためにも、魅力的な活動に焦点を当て、その活動の充実に力を入れて1年間取り組んできました。</p> <p>就労前支援のものづくりは、企画、制作、ディスプレイ、販売と仕事をイメージすることのできる、主要な活動のひとつです。また、月1回程度、講師の先生をお招きして、パソコン教室、手芸教室、工作教室も行っています。利用者もとても楽しみにしている人気の活動です。なかなか年間利用者数が伸び悩み、コロナも重なり経営が大変な中、助成金をいただいたことで安定して活動でき、新しいことにもチャレンジできました。</p> <p>現在社会問題となっている引きこもりの方々の中には、発達障害をお持ちの方が潜在的に多く含まれているという現状があります。その方々も経験してみたいと一歩踏み出せるような魅力的な活動を提供できるようこれからも努力していきたいと思っております。</p> <p>① 各種教室とそれに関する見学会の開催 手芸教室、パソコン教室、工作教室の3つの活動を4月～3月まで月1回アクティブの拠点にて開催 ※見学会についてはコロナ禍の為残念ながら開催を見送り</p>

	<p>②農業体験と収穫祭イベントの開催 4月～3月まで月1回畑にて 土づくり➡苗の植え付け ➡手入れ➡収穫➡10月と1月に芋煮イベント ➡1月カレー作りイベント➡3月お楽しみ昼食会</p> <p>③グループホーム勉強会と見学会等の各種イベント開催 ※グループホーム勉強会、見学会についてはコロナ禍の為 残念ながら開催を見送り</p>
<p>活動の開始から完了 までの流れ</p>	<p>① 各種教室とそれに関する見学会の開催 パソコン、手芸、工作活動は月1回講師の先生に教えていただける就労前支援の人気の活動です。</p> <p>・パソコン教室では利用者の希望に沿った内容で指導していただいています。暑中見舞いや年賀状を作りました。利用者が自分の親戚や知り合いの方へ郵送しています。送った方に見ていただいて「ありがとうございます」と声を掛けていただくことが、本人の喜びにつながっています。コロナ禍で、なかなか会いに行けないこともあり貴重な機会になっています。 今年度新しく、ものづくりの活動で製作した作品のカタログや販売会の作品リスト作りに取り組み始め、非常に助かっています。パソコン技術のレベルアップにもつながっています。</p> <p>・工作教室ではスクラッチや木工、絵画など常に新鮮な「今日のお題」を講師に出していただき取り組んでいます。利用者の楽しい発想と表現を見ることができ、笑いの絶えない時間になっています。活動の中で書いた絵を昨年に続き「令和2年度 障害者による書道写真絵画コンテスト」に出品し展示されました。(社会福祉法人仙台市障害者福祉協会主催)今回は残念ながら入賞はできませんでしたが、楽しみながら自分の気持ちを表現し、他の方にも見ていただく良い機会になりました。</p> <p>・手芸教室 朗らかで、気さくな手芸の講師は、利用者からの人気も高く月1回の利用日を楽しみにしている利用者も多い。午後の余暇の七並べやUNOも垣根なく一緒に参加。センスが良く、常に新しい技法を取り入れ我々にも提案して下さる。今年度は、そんな中で新たにppバンドのバッグに取り組み、色の組み合わせや模様を表現して楽しんでいます。ペーパーブレードのポーチづくりにもチャレンジしてみました。手先に力の入らない利用者も、素材が柔らかく取り組みやすいです。可愛らしいと販売会でも人気が高く、お客様に直接褒めていただく場面も増え利用者の自信に繋がっています。</p> <p>② 農業体験と収穫祭イベントの開催 今年度も仙台市農業園芸センターの畑をお借りして野菜を育てています。収穫の喜びばかりでなく農作業の体験から、根気強く取り組むことで就労体験の一環となる活動です。 また畑の活動はコロナ禍で貴重な外出活動になっており、利用者もとても楽しみにしています。活動が制限される中、助成金で、</p>

	<p>畑の活動を継続することができ、本当に良かったと実感しております。外に出て体を動かし、働く喜びを体感することができました。作業後には、管理棟でジェラートを食べる事も楽しみになっています。園芸センターのお客が多く、感染が心配な時には、ジェラートを購入後送迎車の中でいただいたりもしていました。</p> <p>帰りながら、牛丼をテイクアウトし拠点で昼食にしています。なかなか外食がままならない中、お楽しみの一つとなっています。</p> <p>トマト、キュウリ、ナス、里芋、ニンジン、ねぎ、玉ねぎなど、みんなで苗を選んで植え付け、収穫した作物の一部は、家に持ち帰り食卓へ上ります。家族の話題にもなります。</p> <p>毎年収穫した野菜を使って拠点で行っていたカレーと芋煮の年二回の収穫祭を 今年度は新たに、畑をお借りしている農業園芸センターで、夏と秋の二回かまどを借りて、法人でもう一か所運営している、障害児の放課後デイサービス事業所『アクティブ・ぽーと』の子供たちと一緒に交流会として開催しようと考えて楽しみにしていましたが、コロナ禍、みんなで集まり飲食することのリスクを考え、子ども達との交流会は見送ることにしました。残念です。</p> <p>③ グループホーム勉強会と見学会等の各種イベント開催 利用者とその保護者を対象に外部講師を招いて、将来へ向けた、グループホームの現状を知っていただく機会を持ちたいと考え勉強会の開催を考えていました。</p> <p>後日には、実際の仙台市内のグループホームの見学会も開催予定でした。</p> <p>利用者もそのご家族も、将来どんな生活を送っていくようになるのかイメージ出来ずにいる方が多く、今後「親亡き後」を考えるためにも開催したいと考えていましたが、どちらも、このコロナ禍の中、参加して下さる方々全体の安全を考え、残念ながら開催できませんでした。</p> <p>今後、コロナウイルス感染の状況を見ながらにはなりますが、グループホーム勉強会と見学会開催を、早い時期に前向きに取り組んで行こうと考えています。</p>
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>助成金をいただいたことで日々の活動の充実を図ることができました。</p> <p>コロナ禍で活動を制限される中、ものづくりの活動は、就労前支援として、アクティブ・デイの中心になる活動です。ところが非常事態宣言が出された時には、公共交通機関を使い通う利用者本人も心配だったこと、ご家族も本人の感染を心配したことから、その期間、利用者がお休みで、活動ができない日がありました。解除になってからは通常通り通ってきてくれました。</p> <p>安全で安心できる環境を提供できるように努力し、活動と向き合い、新しい作品にも取り組み、前向きに乗り越えることができました。</p> <p>パソコンでは、引き続き今年度も、ものづくりの活動で制作した作品のカタログや販売会リスト作りにも取り組むことができるようになり、パソコン技術のレベルアップにつながっています。</p> <p>工作活動の中で書いた絵は昨年につき「令和2年度 障害者に</p>

	<p>よる書道写真絵画コンテスト」に出品することができました。 (社会福祉法人仙台市障害者福祉協会主催)今回は入賞できませんでしたが、楽しみながら自分の気持ちを表現し、他の方にも見ていただく良い機会になりました。</p> <p>畑の活動では、畑で収穫した野菜を使って、アクティブ・デイの拠点にての芋煮会、カレー作り、お楽しみ会をそれぞれ開きました。自分たちで作った野菜を調理し、畑での頑張りをねぎらい合い、楽しいひと時を過ごし、リフレッシュして次へ向かう元気もいただきました。</p> <p>今年度後半に参加することのできた販売会では、来ていただいたお客様が、日々製作している利用者の目の前で、作品を買っていただいた事。それと同時に作品を誉めていただいた事。本人の喜びと自信に繋がっています。</p>
<p>今後の展望など</p>	<p>今年度、コロナの状況を見ながらにはなりますが障害児の放課後デイサービス事業所『アクティブ・ぼーと』の子供たちと一緒に交流会をぜひ開催したいと考えています。</p> <p>今回は畑で収穫した野菜を使って、アクティブ・デイの拠点にての芋煮会、カレー作り、お楽しみ会をそれぞれ開きました。自分たちで作った野菜を調理し、畑での頑張りをねぎらい合い、楽しいひと時を過ごし、リフレッシュして次へ向かう元気もいただきました。引き続きお借りしているアクティブ・デイの畑に元気な作物を利用者みんなで育てていきます。</p> <p>グループホーム勉強会と見学会開催においても、早い時期に前向きに取り組んで行こうと考えています。将来の生活を考えるための選択肢の一つとして開催していきます。限られた環境の中でも、新しいお仕事にチャレンジし、余暇も充実させ人生を楽しむ事。今後もトータルで自分の人生を豊かにできるよう支援していきます。</p> <p>中々外に1歩踏み出すことのできない、引きこもっている当事者の方にも気軽に参加していただいて「手芸」を架け橋として通うきっかけになってくれればと思い、今回は手芸で体験教室を企画したが、何分にもあまり広くない活動室、どうしても密になってしまうリスクを考えると、今回は体験教室の開催を見送らざるを得ないという結論になりました。非常に残念でしたが、コロナが収束した暁には今回の企画を是非実現させたいと考えています。そして一人でも多くの人に活動の魅力が伝わる事を願っています。</p> <p>みやぎ生協様より 福祉活動助成金を頂いた事で、一年を通じてこんなたくさんの活動をする事が出来ました。コロナ禍で、外出もままならない中、予定通りのイベントをすべて開催できなかった事は非常に残念でしたが、皆やれる範囲で、どの活動も笑顔で楽しんで参加してくれた事、そして何事もなく無事に1年過ごす事ができた事を大変嬉しく思っています。活動を後押ししていただいたみやぎ生協様には感謝の気持ちでいっぱいです。心よりありがとうございました。</p>

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額 (円)	備考
福祉活動助成金	190000 円	
自己資金	40 円	法人より
合計	190040 円	

■ 支出の部

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
勉強会にかかる費用	利用者教室×34回 (講師謝礼、材料代)	119,880 円	139,870 円
	見学体験会 ※コロナウイルス感染防止の為 中止	10,330 円	0 円
	勉強会の開催 (グループホーム) ※コロナウイルス感染防止の為 中止	21,000 円	0 円
	施設見学会 (グループホーム) ※コロナウイルス感染防止の為 中止	5,000 円	0 円
活動にかかる費用	畑 (使用料、肥料代、苗代、 種代、作業備品)	21750 円	10,631 円
	収穫祭 (カレー作り交流会) ※コロナウイルス感染防止 の為交流会は中止 1月30日畑の野菜を使って カレー作りへ変更	8,330 円	2,395 円
	芋煮会 (芋煮作り交流会) ※コロナウイルス感染防止 の為交流会は中止 10月23日、1月23日 畑の野菜を使って芋煮会へ変更	13,610 円	3,729 円
	お楽しみ昼食会を開催 3月5日(畑の里芋を使って芋煮)	0 円	9,678 円
	日々の活動の充実 (ものづくり材料代)	0 円	23,737 円
合計		199,900 円	190,040 円



水やり楽しい~!!

パソコン

今は販売会リスト作りや、カタログ作りに入れています!!

畑作業



地域活動推進センター

アクティブ・デイ

〒983-0014 仙台市宮城野区高砂1-122-2

TEL022-352-5665

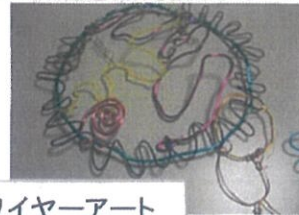


木の端材で椅子作り
販売会の展示にも使う予定



木の端材で
作った絵

ワイヤーアート



工作活動



スクラッチという技法で
描いた絵



粘土でスイーツ作り



活動の様子



迷路



カレー作り

畑で採れたジャガイモと人参が入った 具たくさんカレー
とっても美味しかったー！！

懇親会



宮城風

芋煮

今年豊作だった里芋、ネギ、人参を使って収穫祭でみんなで芋煮
宮城風と山形風どちらも最高の出来！！お腹いっぱい、大満足



山形風



製作中



講師の先生に教えていただいた新素材のペーパーブレードのポーチ2種



ビーズストラップ



今年一押し of 新作 P. Pバッグ



ビーズのウサギ

手芸





六目花編みバッグ



スニーカー・ブーツ
ベビーシューズ



動物のマグネット(干支もあ)



竹籠風バッグ



新作バッグ



飛ばし編みのバッグ

ものづくり



エコクラフト紐



ひよこ



ランドセル



ポシェット



ふくろうのストラップ



ふくろうのメガネ立て



花編みバッグ製作中



ウサギのお雛様



石畳のふくろう



兜

どの作品も
真心こめて作って
います...



コサージュ



季節の小物入れ



人気!!七夕飾り



カーネーション



新作 豆雛



ベリーかご



動物ストラップ



石畳バッグ各種